

# 大中校区小中一貫教育たより⑨

今年度最後の「小中一貫教育たより」は、2月26日（木）に行われた「大中校区会議」の報告です。児童生徒下校後（中学校部活動一部実施あり）の15時30分より、西原小・紫塚小・大田原中学校の教職員が大田原中学校1F多目的室に集合し全体会議を開催しました。

本校区の小中一貫教育グランドデザインに示されている目標やねらいにどれだけ迫れているか？各指導部からの報告（※活動実践から得られた成果や課題等について）を共有し、一年間の小中一貫教育の進捗状況と合わせて確認しました。

また、「中学校教員による小学校への乗り入れ授業」・「小中合同あいさつ運動」・「小小ー小中交流会」等の活動を担当した教員による発表の場を設け、校種や担当学年問わず三校の教職員全員が活動のイメージを共有できるような工夫も取り入れました。オンライン会議ではなく、「一堂に会して直接声を聞く」ことで伝わる「熱量」がとても大きくなり、より結束が深まりました。

\*\*\*\*\*

大田原中学校区小中一貫教育調整校長（大田原中：明澤伸宏校長）のあいさつにより、全体会がはじまりました。

あいさつの中には、「西原小学校、紫塚小学校、大田原中学校の先生方がこうして一堂に集結し顔を合わせ、目標を共有できることが何より貴重なこと。これからもみんなで力を合わせて大田原中学校区の子どもたちを大切に育てていきましょう。」というメッセージがあり、改めて学校を超えた連帯感を感じました。

なお、会議資料等は事前に教務部会からデータで配信され、各自chrome bookを持参し、効率的に会議が進められました。

\*\*\*\*\*



↑【各指導部からの発表の様子】教頭部会からは小中一貫教育推進のための教頭の役割、学校間・外部施設等との連携強化、「大中校区全体（三校合同）での一斉引き渡し訓練」実施に向けた準備の必要性等が説明されました。



←↑乗り入れ授業、小中合同授業検討会、小小・小中交流会・・・、小中一貫教育に関わる様々な活動を担当した教員が、感想や気づきを発表しました。

校種を超えた教員同士の協働の充実感、互いの学校のちがいの理解、子どもたちの頼もしさや中学校に向けての成長の様子、子どもたち同士の関わりの大切さ・・・など、体験して気付いたことや感想が素直に伝えられ、その内容から本校区での取り組みの成果を改めて確認することができました。今年度のまとめとなる充実した「大中校区（教職員）全体会」となりました。次年度も、ご期待ください！